

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

1. 教育学部・教育学研究科	1
2. 大学院人文社会科学研究部(文学系)	3
3. 大学院人文社会科学研究部(法学系)	4
4. 大学院先端科学研究部	5
5. 大学院生命科学研究部(医学系)	7
6. 大学院生命科学研究部(薬学系)	9
7. 大学院生命科学研究部(保健学系)	10
8. 病院	11
9. 発生医学研究所	13
10. 生命資源研究・支援センター	14
11. 産業ナノマテリアル研究所	16
12. くまもと水循環・減災研究教育センター	17
13. 先進マグネシウム国際研究センター	18
14. 総合情報統括センター	19
15. 熊本創生推進機構	20

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(教育学部・教育学研究科)

目標1: 男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・教育学部の専門科目である「教育社会学特殊講義」ではジェンダーやセクシャリティに関連した内容を、「人権教育論」ではダイバーシティ (SOGI や LGBTIQ) の内容をそれぞれとり扱っている。・男女が協力して家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を目指す家庭科の教員養成にあたっては、男女共同参画、性別役割分担の現状、子育て支援、生活設計、キャリア教育、ダイバーシティの観点に立つライフスタイルの実現等に関する「家族関係学」、「家庭経営学」等の授業を実施している。
目標2: 男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・本年度、教育学研究科で行った公募文書には、別紙 2-1 に示された内容を記載した。(以前より継続)
目標3: 男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
<ul style="list-style-type: none">・教養教育科目である「女性のライフコースとキャリア」では、教育学部教員がコーディネートを務め、熊本県内で活躍している女性 (ホテル経営者、看護部長、新聞記者、医師、弁護士等) を講師として招き、地域における男女共同参画の優れた実践例を本学学生に紹介している。・熊本県よかボス倶楽部幹事会会長、熊本県子ども・子育て会議委員、熊本市男女共同参画センター運営審議会会長等を務める教育学研究科教員があり、地域の男女共同参画社会の実現に貢献している。
目標4: 次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
<ul style="list-style-type: none">・令和 3 年度の育児休業取得者は 2 名 (附属特別支援学校教諭 1 名、附属小学校教諭 1 名) であり、そのうち 1 名は男性である。また、育児時間取得者は 2 名 (附属特別支援学校教諭 2 名) である (2 名とも女性)。・「よかボス宣言」(教育学研究科長) を研究科教授会で周知するとともに、廊下に掲示し、ワークライフバランスの実現にむけた職場環境の熟成に努めている。

その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

- ・人権教育講演会において、「困難を抱えている女性や子どもの支援——ポストコロナにおける他者との関わり方」という題目で、困難を抱える女性や子どもへの支援活動をなさっている NPO 法人熊本どんぐりの代表理事・松永佳子氏にご講演を賜った（2022年3月7日実施）。
- ・次世代育成支援や男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの実現等に関する卒論研究が行われている。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

人権教育委員会ポスター

<https://prsf.kumamoto-u.ac.jp/public/jFTYwAOHNATAVjEBk6R-iV6ySziqEQmC62rmwRYT0o2H>

パスワード:Jinken2021

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(人文社会科学研究部(文学系))

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
文学部では授業「ジェンダー入門」を以前より継続して開講している。この授業の主な目標は男女共同参画の必要性を学生に周知することである。これに加え、各教員の自発的な取り組みとして、担当授業にジェンダー論的視点を取り入れた授業も行われている。「コミュニケーション情報学入門」、「社会学概論」、「芸術学概論II」、「日本文学概論I」、「世界システム史講読」、「比較文学基礎演習」などの授業がそうである。こうした授業に触発される学生も少なくなく、例年、複数の学生がジェンダーにかかわるテーマで卒業論文を執筆しているが、そうした学生への研究指導も充実している。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
それぞれの部署で引き続き努力している。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
授業「ジェンダー入門」を継続して開講し、男女共同参画に積極的な人材の育成に努めている。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
人文社会科学研究部(文学系)は、令和3年4月1日付けで2名の女性教員を採用した。人文社会科学研究部(文学系)に所属する女性教員の数は確実に増加している。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
特になし。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(人文社会科学部(法学系))

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
将来の職業選択に関するキャリア科目を開講し、外部から女性・男性の講師を招いて、多様なロール・モデルを示すようにしている。また、学生が種々の目的で利用できる場として設けられている「リフレッシュルーム」「法学部学生自習室」等を、新型コロナウイルス感染症防止対策を図りながら、可能な範囲で利用できるようにした。さらには、パソコン利用、それに伴う教材の印刷も可能な環境を、同様に新型コロナウイルス感染症防止に留意しながら学生が利用できるようにした。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
教員公募時に出産・育児・介護に専念した期間の付記、男女共同参画を推進していることを記載し、選考にあたっては、男女共同参画社会基本法にのっとり適正に行う旨を記載している。教員の男女比は、男性(約57%)・女性(約43%)となっており、学生も、いずれかの性別に圧倒的に偏っているわけではない環境のなかで学ぶことができる。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
法学系で開講されている科目には、自由・平等を理念としたものが多く、そうした科目で取り上げられる教材には、男女差別、ジェンダーやLGBTQに関する問題、DVの問題等といったものがあり、具体的な問題を通して自由・平等について考える機会が多く提供されている。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
例えば育児中の教員が担当する授業科目の授業時間割上の配慮といったことなどが事実上行われている。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
特になし。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(大学院先端科学研究部)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
<p>本年度はバーチャル開催となったオープンキャンパスに合わせ、女子高校生の興味に応じて現役女子学生と個別に相談する機会として「女子高校生のための進路相談会」を2021年8月7日(土)に開催した。また、女子中高校生の理系進路選択支援活動として、熊本大学大学教育統括管理運営機構により行われている「はばたけ!熊本サイエンスガールズ」について、大学院先端科学研究部の教職員および理学部、工学部及び自然科学教育部の女子大学生・大学院生が今までの各種企画に協力している。これまでの参加者から、これらの事業は高い評価を得ており、理系学部に進学する女子高校生及び大学院に進学する女子学生の割合を増やし、将来の女性教員・研究者増加につながる優れた取組と考えている。</p> <p>また、研究部男女共同参画推進委員会主催で、女性教員と大学院生、学部学生との懇談会である「Women in Science」を2021年11月29日(月)に開催した。熊本大学大学院先端科学研究部に所属する外国人客員研究員の女性研究者による講演が行われ、その後活発な質疑応答があった。</p>
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
<p>全女性教員を対象に、スキルアップ経費として、論文投稿・校閲費や会議参加費などの支援を行っている。本年度は、3名への支援を行った。</p>
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
<p>女性教員も含め、女子高生のための進路相談会を行うことで、地域へ貢献している。</p>
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
<p>今年度、大学院先端科学研究部では、女性限定公募により、女性教員1名の准教授から教授への昇任があった。また、1名の女性教員の助教から准教授への昇任を行うとともに、女性の助教1名を採用した。</p>
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
<p>教員公募を行う際には必ず「男女を問わず、出産、育児、介護に専念(あるいは従事)した期間について考慮することを希望される場合は、その旨付記してください。」や「熊本大学は、男女共同参画を推進しています。(詳細は、ホームページを御覧ください。http://gender.kumamoto-u.ac.jp/) 選考にあたっては、男女共同参画社会基本法にのっとり、適正に行います。」を記載している。</p>

- ※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。
- ※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(生命科学研究部(医学系))

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
(記入欄) ・医学科での特別臨床実習においてグループ分けを行う際、特別な偏りがないよう配慮している。 ・全学年、男女とも個人毎にロッカーを割り当てており、女子更衣室についても確保している。 ・育児中の学生に対し、要望があれば実習時に配慮し柔軟に対応している。 ・勉学と子育ての両立の心構えやアドバイスを女性先輩医師から直接聞くことが出来る環境を整えている。 ・「医学科学生連絡用」Moodle コース内に『ダイバーシティ～多様性の推進～』のページを作成し、関連する企画の案内や基本的な用語説明などを行った。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
(記入欄) ・医学教育部において、柴三郎プログラムに女性柴三郎コースを設定し、保育園への優先的入園、病児保育などの子育て支援や、出産・育児休学中もeラーニングで勉学の継続、メンターによる研究指導などを行う支援制度を設けている。 ・女性教員、学生によるランチ会を行ってきたが、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大予防のために対面で会合することが困難であった。令和3年度は医学科学生対象にMoodle コースを用いてのランチ会を2回企画開催した。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
(記入欄) 特になし
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
(記入欄) 特になし
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

記入欄)

- ・教員公募を行う際には、必ず、「熊本大学は、男女共同参画を推進しています。(詳細は、ホームページをご覧ください。<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/>)
また、選考にあたっては、「男女共同参画社会基本法」の精神に則り、適性に行います。」を記載している。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(生命科学研究部(薬学系))

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
薬学部の男女比は例年約1:1で、男女とも就職率はほぼ100%であるため、現状においてもキャリア形成の意識は十分高いと考えられる。創薬・生命薬科学科(4年制)の学生は男女ともほぼ100%が大学院博士前期課程に進学しているので、教育の機会均等は既に達成されているといえる。一方、今年度に博士学位を取得(見込みを含む)する学生19名のうち女性は7名である。昨年(16名中7名)に比べて女性比率は低いが、毎年一定数の女性が博士号を取得している。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
薬学部では3年生の5月に研究室配属を行っている。研究室ごとに男女の定員は設けていないので、既に男女平等な教育・研究環境であるといえる。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
女子学生も卒業後は全員が、企業や病院、薬局あるいは行政関係に就職し、社会に貢献している。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
令和3年7月、特任助教として女性教員を1名採用した。そして、令和4年1月から、令和3年度研究補助者雇用事業により研究補助者を1名雇用している。今年度は、コロナ禍のため実現しなかったが、積極的に女性研究者の講演会を開催する機会を設けている。教員公募の際には、女性を積極的に雇用する旨を公募要領に記載している。セクシャル・ハラスメント相談員のリストを掲示板に示し、各種ハラスメントに関する相談に対応しやすいようにしている。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
特になし。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(生命科学研究部(保健学系))

<p>目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</p> <p>(記入欄)</p>
<p>目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</p> <p>(記入欄)</p>
<p>目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</p> <p>(記入欄)</p>
<p>目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</p> <p>(記入欄)</p>
<p>その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。</p> <p>(記入欄)</p> <p>保健学系では、生命科学研究部における男女共同参画の推進に関する委員会規則に基づき、委員会で教職員に対して推進する方策の策定などを行っている。今年度は動画を利用した研修を実施することを決定した。</p> <p>研修の動画は文部科学省の動画を利用して、M o o d l e上に掲載し、視聴期間は2月7日から3月7日までの間に動画視聴とアンケートを実施している。</p>

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(病 院)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
(記入欄)
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
(記入欄)
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
(記入欄)
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
(記入欄) ○ワーク・ライフ・バランスの観点に立つ環境の整備 院内保育所及び病児保育室の運営については委託契約により行っているが、保育士等の契約単価と相場単価に差異があり、人員確保が懸念されることから、保育所等の安定的な運営のため来年度の契約単価を引き上げることとした。 (保育士：1,500円→1,600円、看護師：2,000円→2,100円) ○ジェンダーの視点による学内の調査・分析、統計及び情報の提供 病院男女共同参画推進委員会による ① 男女共同参画コーディネーターの会の開催(令和3年12月17日、令和4年1月19日：別紙1) ・ 2回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEBにより実施 ・ 各診療科等に設置した男女共同参画コーディネーターが参加 ・ 「熊本県における医師の男女共同参画に係る問題」について、地域医療支援に

詳しい病院男女共同参画推進委員会委員から報告

- ・ 「本院及び熊本県で利用できる支援」について、本院の取り組みを紹介
- ・ 「当直の課題点」をテーマに参加者でグループワークを実施

② 育児・介護支援情報会の開催(令和4年2月4日：別紙2)

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEBにより実施
- ・ 県内医療機関の看護師から、仕事と介護の両立をテーマとした事例の紹介
- ・ 院外講師による介護保険制度、サービス等に関する説明
- ・ 院外講師による介護が必要になった場合の対応に関する講演

その他：目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

(記入欄)

○病院男女共同参画推進委員会と熊本県地域医療支援機構の共同による

クローバーセミナーの開催(令和4年2月16日：別紙3)

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEBにより実施
- ・ 本院女性医師から自身のキャリア形成について事例として紹介
- ・ 県外講師による男女共同参画に関するプロジェクトの紹介
- ・ 県外講師による医療人キャリア教育に関する講演

○教員の公募において

本院の教員公募において、本学は男女共同参画を推進しており、選考にあたっては、男女共同参画社会基本法に則り適正に行うことを記載している。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体の取組について

部局等名（ 発生医学研究所 ）

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、独自の研究支援事業を行っており、『育児・介護期間中の研究支援』事業においては対象者を大学院生にまで拡大し、育児・介護と就学を両立できる環境の整備に取り組んでいる。令和3年度公募においては、大学院生1名に助成を行った。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、2008年7月29日に男女共同参画推進に係る事業実施に関する申し合わせを定めて、工夫及び改善を重ねながら、「男女共同参画推進事業」を継続して行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染による休校等の影響を考慮し、前年度と同様に支援対象者を“小学生以下の子の育児期間中”まで拡大して公募を実施し、教職員5名に対して助成を行った。・ 発生医学研究所HPにおいて、上記の「男女共同参画推進事業」の公募・採択情報のほか、女性教職員の割合（統計データ）及び授乳室等設備の最新情報を掲載している(http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/danjo/)。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、毎年八代中学からの研究所見学を受け入れているが、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出前講義の形式をとった。2021年6月18日（金）に県立八代中学校にて実施し、本研究科教員（2名）による講義を行った。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、令和2年度から、所員の方々の心身の健康向上を目指して『発生研なんでも相談窓口』を設置している。所員であれば職種、勤務形態を問わず相談でき、大学院生や学部生もすべて対象としている。さらに、そのご家族からも相談できるようになっている。また、外部機関に委託しているため、有資格者に相談することが可能であり、秘密厳守で匿名も可能とした。相談内容は研究・仕事関係、人間関係、家族のことなど、何でも相談できる。さらに、所内には外国籍の方も多いため、令和3年度から英語での相談ができるように委託先に相談し、実現することができた。（詳細は別紙に掲載）
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
(記入欄) <ul style="list-style-type: none">・ 発生医学研究所では、管理職から若い世代まで、職位を問わず全員が倫理教育を定期的に受けることが必要と考え、これまでも、「研究費不正防止講習会」や「セクシュアル・ハラスメント防止のための特別講演会」を実施している。令和3年度は、2021年6月25日（金）に外部講師をお招きし、「パワーハラスメント防止のための特別講習会」を実施した。（詳細は別紙に掲載）

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(生命資源研究・支援センター)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・ 男女の隔たりのない教育環境の整備を行っている。また、卒業生との交流や情報共有により、学部や大学院（修士および博士）終了後のキャリアパスを紹介している。・ 放射線安全管理に役立てることができる放射線に対する正しい理解を目的としたグループワークや勉強会を行っている。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・ 居室や実験スペースを適切に確保し、個々の関心に応じて研究を実施できるように、男女隔たりなく研究計画の立案と助言を行っている。・ 男性および女性研究者との交流や研究所への訪問、学会への参加を促している。・ 研究の効率的な推進や研究環境を整備するために事務補佐員や技術補佐員を採用し、主に女性の活躍の場となっている。・ コロナ禍での急な子どものケアなどを含め、育児と研究・業務が両立できる研究環境整備に取り組んでいる。・ 放射線に関する国内外の学会、研究会及び研修会への参加の促進を図っている。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
<ul style="list-style-type: none">・ 男女隔たりなく次世代リーダー育成プログラムである HIGO プログラムへの参加を積極的に進めている（令和三年度：2名）。・ エジプトから研究希望学生がいるので、留学生となる為の手続きを行っているところであり、女性研究者の育成をする予定である。・ マウスリソースに関する国内および国際社会における役割を説明し、本事業の推進に貢献する研究活動への参加を促している。・ 放射線に関する基礎知識の啓発や原子力事故対応の被ばく医療研修などへの講師派遣を促進している。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
<ul style="list-style-type: none">・ 動物実験、生命資源、遺伝子組換え生物、放射線の取り扱いに関する専門知識の習得を促すと共に、男女が働きやすい環境の整備に努めている。・ 放射線安全管理に関する国家資格などの取得ができるように職場での教育支援を促進している。・ 女性研究者が活躍の場を広げるため、第1種放射線取扱主任者資格取得を目指して

いる（1次試験を通過）。

その他：目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

- ・ 教員公募の際に、男女共同参画を推進していることを示す「熊本大学は、男女共同参画を推進しています。」を記載している。
- ・ 妊婦の方などが臥床できる休憩室（動物資源開発研究施設 新館 600 室）を設置している他、ソファ（遺伝子実験施設 6F608 室）・リフレッシュルームの休憩用ベンチ（共用棟 1F）を休憩スペースとしている。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(産業ナノマテリアル研究所)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
研究所主催の国際シンポジウムにおいて、世界的に著名な女性研究者や優秀な業績を有する本学女性教員をお招きし世界トップレベルの研究内容をご講演いただくなど、研究・教育環境においてジェンダーレスであることを積極的に啓発している。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
当研究所が実施している研究プロジェクトにおいて継続して女性7名(特別研究員2名、技術補佐員3名、事務補佐員2名)を採用するなど、積極的に女性の採用を行っている。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
国際的に活躍できる研究者を育成するために、男女問わずに研究者や学生の海外渡航を支援し、国際会議参加や国際共同研究実施のための派遣を推進している。またこの活動は、国際社会では男女が分け隔て無く活躍し、社会貢献していることを見聞してもらえる効果をもたらしている。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
熊本大学が実施している「育児・介護に関わる研究支援」事業や「病児保育支援事業」への申請を積極的にサポートし、子育て・介護世帯研究者の研究継続に配慮している。 今年度行われた採用人事では、新たに女性教員1名を准教授として迎えている。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
特になし。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(くまもと水循環・減災研究教育センター)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・くまもと水循環・減災研究教育センターの外部施設である合津マリンステーションや益城ラボでは、そこを利用する学内外の利用者に対して、浴室、トイレ、寝室等施設面において男女による差別がないよう配慮され、また長靴、防護服などを含めた設備品においても男女による差別がないように配慮され、利用目的が適正かつ安全に遂行されている。・学生実習や市民講座・観察会は、野外や十分な設備のない場所で行われることが多いが、行事を行う際には、事前に更衣室やトイレに配慮するなど、男女共同参画に向けた活動が適切に行われている。・女性大学院生がいる所属教員の研究室では、男女による差別がないように配慮されている。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・教員公募にあたっては、募集要項に男女共同参画を推進していることを明記し、研究活動への機会均等に配慮している。研究補助員・事務員の募集についても、可能な限り、女性を優先するように配慮している。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
<ul style="list-style-type: none">・市民講座等を通して、男女がともに活躍できる地域社会の実現を目指している。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
<ul style="list-style-type: none">・センターでは、研究補助員、事務員として、多くの女性(計11人)が雇用されているが、採用においては育児・介護等が不利にならないように配慮し、また、雇用後の勤務についても育児・介護が可能な勤務態勢を取っている。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
<ul style="list-style-type: none">・合津マリンステーションでは、理系進学を推進するためのプロジェクトの一環として、大津高校・熊本西高校の臨海実習の他、県下生物部・科学部の研修、女子中高生の理系進路選択支援プログラムにイベントなどが頻繁に行われており、多くの女子生徒が参加している。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(先進マグネシウム国際研究センター)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
研究組織のため、該当なし。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
MRC で実施している 6 つの研究助成制度においては、男女の分け隔てなく一律に助成を行っている。本年度は、このうち学外の研究者を対象とした MRC 共同利用・共同研究助成において、2名の女性研究者からの申請があり、いずれも採択を行った。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
男女共同参画推進に関する啓発活動については、学内外で開催されるセミナーやシンポジウムへ積極的に出席するよう努力している。今年度は、男女共同参画推進に関する学内外で開催されるセミナーやシンポジウムへ積極的に参加して高い意識を常にもつよう努力し、全学的な男女共同参画推進フォーラムへは、セミナーへの参加をメールや口頭で促している。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
子育て中の方に対しては、男女問わず、時間外勤務を制限するなどの配慮を行っている。また、全学で2019年に託児ルームを開設するなど、女性の活躍を推進する環境整備がなされている。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
教員公募を行う際には必ず「男女を問わず、出産、育児、介護に専念（あるいは従事）した期間について考慮することを希望される場合は、その旨付記してください。」や「熊本大学は、男女共同参画を推進しています。（詳細は、ホームページを御覧ください。 http://gender.kumamoto-u.ac.jp/ ） 選考にあたっては、男女共同参画社会基本法にのっとり、適正に行います。」を記載している。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(総合情報統括センター)

<p>目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。</p>
<p>(記入欄)</p> <p>当部局は教育担当部局ではないことから、直接的に上記に係る取り組みは実施していない。但し、全学情報ネットワークを管理する立場から、全学情報基盤、情報サービスを安定稼働させることを通じて、目標1の活動を側面から支援している。</p>
<p>目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。</p>
<p>(記入欄)</p> <p>現在のところ、研究を担う教員は当部局では男性のみであり、特に上記に係る取り組みは実施していない。</p>
<p>目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。</p>
<p>(記入欄)</p> <p>当部局は、本学の人材育成を担う部局ではないことから、直接的に上記に係る取り組みは実施していない。但し、全学情報ネットワークを管理する立場から、全学情報基盤、情報サービスを安定稼働させることを通じて、目標3の活動を側面から支援している。</p>
<p>目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。</p>
<p>(記入欄)</p> <p>該当なし</p>
<p>その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。</p>
<p>(記入欄)</p> <p>当部局では、男女共同参画推進委員会が主催する各種講演会やセミナー等について、具体的な目標を定めて、積極的に参加する取り組みを実施している。</p> <p>また、働き方改革、男女共同参画推進に加え、COVID-19感染拡大防止の視点から、「テレワーク」の実施について、技術的側面より支援している。</p>

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいで構いません。

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体的な取組について

部局等名(熊本創生推進機構)

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
(記入欄) 所属学生がいないため該当なし。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
(記入欄) 該当なし。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
(記入欄) 例年、男女共同参画推進に関するフォーラムや講座を開催しているが、令和2年度から、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、未実施となっている。今年度は、男女共同参画と災害・復興ネットワーク(JWNDRR)が主催したフォーラム(テーマ「災害にレジリエントな社会をめざして～男女共同参画と災害・復興ネットワークの10年～」)、オンライン開催)に本機構の安部准教授がパネリストとして参加した。 また、熊本転入ママの会「くまてん」の支援活動も行っており、安部准教授が担当しているキャリア科目である「ボランティア実践」履修者や、機構で管理しているボランティア登録者に声をかけ、11名が活動登録をしている。具体的な活動内容として、お母さん方のミーティング中の子供の相手やイベント、ZOOM利用の手伝いのほか、今年度は本学放送部に子供向けの動画制作もしてもらっており(年度内完成)、子守り中に使える読み聞かせ動画(ストーリーは放送部オリジナル)になる予定である。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
(記入欄) 該当なし。

その他：目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。

(記入欄)

本機構安部准教授が市民団体「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」のアドバイザー（ボランティア）に就任し、活動中。

※ 各部局で実施したセミナー等の資料等がありましたら、添付してください。

※ 1ページ以内に収める必要はありません。行は適宜広げていただいて構いません。